

四谷塩町一丁目文書目録

一、本目録は、江戸東京博物館に収蔵された日本法制史家の石井良助氏の収集史料（石井コレクション）の中から、四谷塩町一丁目（現在の新宿区本塩町）において作成された87点の文書を抽出し、内容別・年代順に配列したものである。

一、当館の7階図書室では、1999年より本文書群のマイクロフィルムによる閲覧公開を実施してきた。これまでは、当該文書を編年順に配列した目録を図書室に配架してきたが、本目録は、その後の調査で四谷塩町一丁目文書であることが確認された文書を追加し、先行の目録を内容ごとに分類した上で、編年順に配列したものである。

一、四谷塩町一丁目文書の一部は、「江戸東京博物館史料叢書」として、以下の翻刻版が刊行されているので、併せて参照されたい。

- ・江戸東京博物館史料叢書 1 『四谷塩町一丁目人別書上』上、1998年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 2 『四谷塩町一丁目人別書上』下、1999年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 3 『四谷塩町一丁目御用留』2000年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 4 『四谷塩町一丁目町入用』2001年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 5 『四谷塩町一丁目御触留』2002年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 6 『四谷塩町一丁目書役徳兵衛日録』2003年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 7 『四谷塩町一丁目幕末御触留』2004年刊
- ・江戸東京博物館史料叢書 8 『四谷塩町一丁目人別関係補遺・近世祭礼篇』2005年刊

一、四谷塩町一丁目文書を分析または紹介した主なものは、以下の通りである（年代順）。

- ・石井良助『家と戸籍の歴史』（創文社、1981年）
- ・児玉幸多「江戸市中の動揺を伝える慶応四年の御触帳」（『江戸東京博物館NEWS』4、1994年、後に「江戸市中の動揺を伝える—

- ・慶応四年の御触帳」と改題の上、齋藤慎一編『江戸の町を歩いてみる』江戸東京歴史探検第2巻、中央公論新社、2002年に収録)
- ・林玲子「印をもたぬ江戸町方女性」(『江戸東京博物館NEWS』5、1994年、後に「印を持たない江戸の町方女性—四谷塩町一丁目人別書上」と改題の上、近松鴻二編『江戸で暮らしてみる』江戸東京歴史探検第3巻、中央公論新社、2002年に収録)
- ・林玲子「石井良助文書『人別書上』控について」(『東京都江戸東京博物館研究報告』第1号、1995年)
- ・林玲子「解題」(『四谷塩町一丁目人別書上』下、江戸東京博物館史料叢書2、1999年)
- ・近松鴻二「四谷塩町一丁目人別書上控—武士の転身ぶりも記載」(『読売新聞』東京版、江戸博蔵めぐり、1999年7月2日、後に「藤細工人に転じた旧幕臣—人別書上控」と改題の上、岩城紀子編『開化の東京を探検する』江戸東京歴史探検第4巻、中央公論新社、2003年に収録)
- ・赤澤春彦「幕末期の四谷塩町一丁目—人別書上からの情報—」(『四谷一丁目遺跡Ⅲ—都市計画道路路環状第2号線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—』東京都建設局・財団法人新宿区生涯学習財団、2000年)
- ・北原糸子「四谷の街造り」(同上)
- ・榎木真「四谷一丁目遺跡と四谷塩町一丁目」(同上)
- ・横山百合子「近世後期江戸における町人の家とジェンダー—土地所持と家業経営の視点から—」(桜井由幾・菅野則子・長野ひろ子編『ジェンダーで読み解く江戸時代』三省堂、2001年)
- ・氏家幹人「江戸人の古い」(PHP研究所、2001年)
- ・小沢詠美子「お江戸の経済事情」(東京堂出版、2002年)
- ・北原進「明治維新と町の記録」(『江戸東京博物館NEWS』38、2002年)
- ・桜井由幾「女性の移動—江戸四谷塩町一丁目の場合」(『江戸期おんな考』第14号、桂文庫、2003年)
- ・近松鴻二「天酒頂戴」余話」(『江戸東京博物館NEWS』43、2003年)
- ・近松鴻二「江戸から東京へ—かくれた歴史—」(『自警』平成15年9月号、2004年)
- ・高山慶子「御奉行所御役所向言上帳—江戸女が分かる記録」(『読売新聞』東京版、江戸博蔵めぐり、2005年1月11日)
- ・赤澤春彦「人別書上に見る幕末期の四谷塩町一丁目」(『東京都江戸東京博物館研究報告』第11号、2005年)
- ・近松鴻二「住人列伝」(同上)

- ・米山勇「コンピュータ・グラフィックによる四谷塩町街並み再現の試み」(同上)
- ・高橋美由紀「地域の中の地方都市—歴史人口学からみた近世在郷町の発展」(ミネルヴァ書房、2005年)

一、本目録は、市川寛明が作成した先行の目録を、高山慶子が再編集したものである。編集作業にあたっては、石山秀和・田原昇の協力を得た。

【凡例】

- 一、本目録は、四谷塩町一丁目文書を、戸口、町屋敷、町政、町入用等、鎮守・祭礼の内容ごとに分類した上で、年代順に配列したものである。
- 一、資料番号は、当館における資料原本の登録番号である。
- 一、文書の標題・年代・作成は、原則として冊子の表紙・裏表紙の記載に従って表記した。表紙・裏表紙に記載のないもの、あるいは表紙・裏表紙のない文書については、括弧を付して内容から判断できる情報を摘記した。
- 一、請求番号はマイクロフィルムのリールごとに付けられたものであり、検索番号は撮影された1件の文書ごとに付された番号、コマ番号は1件の文書の撮影に要したフィルムのカット数である。
- 一、文書の形状は、縦(縦帳)、横(横帳)、横半(横半帳)、綴に分類した。
- 一、「江戸東京博物館史料叢書」1～8に収録された文書には、史料叢書の欄に巻数を明記した。

戸口

資料番号	標 題	形状	年 代	作 成	請求記号	検索 番号	コマ番号	史料 叢書
90375318	町内国分覚 (控)	竖	天保11.4.	塩巻	FYO/3/1	1	0001~0009	8
90381433	人別高書上	竖	天保13.4.	四谷塩町巻丁目	FYO/3/10	26	0001~0006	8
90373928	人別書上控	竖	安政4.4.	塩町巻丁目	FYO/3/1	2	0001~0161	1
90373933	人別書上	竖	文久1.4.	四谷塩町巻丁目	FYO/3/1	3	0001~0210	1
90373930	人別書上	竖	文久2.4.	四谷塩町巻丁目	FYO/3/1	4	0001~0172	1
90373936	人別書上	竖	文久3.4.	四谷塩町巻丁目	FYO/3/1	5	0001~0156	1
90373935	人別書上	竖	元治2.4.	四谷塩町巻丁目	FYO/3/1	6	0001~0183	2
90376740	人別送綴込控帳	竖	慶応2.1.(~慶応4.4.)	塩巻徳兵衛ひかえ	FYO/3/10	4	0001~0082	8
90373934	人別書上	竖	慶応3.4.	塩巻	FYO/3/2	1	0001~0195	2
90376738	人別書上控	竖	明治2.4.	塩町巻丁目	FYO/3/2	2	0001~0209	2
90373941	人別書上	竖	明治3.3.	塩町巻丁目	FYO/3/2	3	0001~0157	2
90375869	戸籍調帳	竖	明治4.4.	四谷塩巻用所	FYO/3/2	4	0001~0163	
90375868	工商業銘調書上*	竖	明治5.3.19	第三大区九小区四谷塩町巻丁目	FYO/3/9	6	0001~0068	8
90375871	生死届綴込	竖	(明治7.3.31~明治9.1.20)	塩巻七軒	FYO/3/3	3	0001~0281	
90373932	戸籍願御指令書控	竖	明治7.4.(~明治12.12.)	原徳兵衛	FYO/3/9	2	0001~0111	

*90375868「工商業銘調書上」は、「御貸付金証文控」(町人用等)と合冊されている。

町屋敷

資料番号	標 題	形状	年 代	作 成	請求記号	検索 番号	コマ番号	史料 叢書
90381439	(町屋敷沽券金高書上)	竖	(江戸期)		FYO/3/9	14	0001~0006	

90381428	(町屋敷坪教書入図面控)	縦	(明治4.)			FYO/3/10	21	0001~0024	
90381429	(町屋敷坪教書入図面控)	縦	(明治4.)			FYO/3/10	22	0001~0022	
90381417	(町屋敷坪教書上)	横	(明治期)			FYO/3/10	11	0001~0017	

町政

資料番号	標 題	形状	年 代	作 成	請求記号	検索 番号	コマ番号	史料 叢書
90381798	御奉行所御役所向言上帳 申渡(酒値段高騰のため上酒価格制限申渡 につき受印帳)	縦	文化1.2.(天明1.~文化4.)	四谷塩町壹丁目家主大助 (四谷塩町壹丁目家主嘉兵衛(印)ほか 1名→名主茂八郎殿)	FYO/3/11	24	0001~0208	3
90381455	申渡(下々御救のため銭相場引上申渡につ き請印帳)	縦	(天保7.12.)	(家主太郎兵衛(印)ほか9名→四谷塩 町壹丁目名主茂八郎殿)	FYO/3/11	14	0001~0005	
90374388	西御丸御焼失町方火消入足相御候二付一同 御褒美銀錢頂戴仕候被仰渡并配当割合扣 当町家主安兵衛店長兵衛方同居なを首纏相 果御検使奉願候一件下書	縦	(天保7.12.)	塩町壹丁目	FYO/3/3	1	0001~0019	
90381440		縦	天保9.3.10	塩町壹丁目	FYO/3/11	1	0001~0010	
90381460		縦	天保11.1.19	町内扣	FYO/3/11	19	0001~0012	
90381445	類焼諸事控	縦	天保12.1.~	四谷塩町壹丁目	FYO/3/11	5	0001~0007	
90373929	御用日記留	横	元治1.1.~	四谷塩町壹丁目自身番屋徳兵衛	FYO/3/10	1	0001~0166	3
90373335	御触帳	横	元治1.9.(~慶応2.9.)	塩町壹丁目	FYO/3/7	1	0001~0446	7
90373338	御触帳	横	慶応2.9.(~慶応4.1.)	塩町壹丁目	FYO/3/8	1	0001~0388	7
90375867	御用留	縦	慶応3.1.~	四谷塩町一丁目カキヤク徳兵衛	FYO/3/10	3	0001~0128	3
90373336	御触帳	横	慶応4.8.	塩町壹丁目	FYO/3/7	2	0001~0272	5
90373339	御触帳	横	慶応4.1.	塩町壹丁目	FYO/3/8	2	0001~0477	7
90371174	日記帳	縦	明治1.1.	塩町カキヤク徳兵衛	FYO/3/3	2	0001~0137	6
90373337	御触帳	横	明治1.9.(~明治2.9.)	塩町壹丁目	FYO/3/7	3	0001~0470	5

90373937	御触留	竖	明治31.(明治28.~明治31.2)	塩巻用所	FYO/3/9	3	0001~0414	5
90373938	(諸願書綴留帳)	竖	(明治4.~明治6.)		FYO/3/10	2	0001~0151	8
90381444	預々金催促ノ訴	竖	明治7.10.	第三大区九小区四谷北伊賀町八番地 借店原告人太物渡世峯岸与曾吉	FYO/3/9	15	0001~0009	
90381442	(預々金催促之訴控綴)	竖	(明治7.)		FYO/3/11	3	0001~0009	
90373942	(原徳兵衛取扱文書控綴)	竖	(明治14.~明治16.)		FYO/3/9	4	0001~0314	6
90370289	諸用留	竖	明治15.1.	原控	FYO/3/3	4	0001~0228	

町入用等

資料番号	標 題	形状	年 代	作 成	請求記号	棟 索 番 号	コ ノ 番 号	史料 数 番
90371526	(金銭取集帳)	横半	(天保5.5.~嘉永5.3.)	塩巻自身番	FYO/3/6	6	0001~0170	
90381426	巻分録式拾巻入江割附扣	横	天保7.12.25		FYO/3/10	19	0001~0010	
90373438	町入用押切帳	横	安政3.1.(~文久2.9.)	四谷塩町一丁目	FYO/3/4	1	0001~0434	4
90381419	〳組入用押切帳	横	万延2.1.	月番→塩町老丁目御行事中	FYO/3/10	13	0001~0034	4
90381411	自身番普請控帳(町入用取集・備社入用とも)	横	文久1.4.4	四谷塩町老丁目徳兵衛	FYO/3/9	9	0001~0024	
90373433	町入用下勘定帳	横	文久2.1.(~文久3.1.)	四谷塩町一丁目月行事	FYO/3/4	2	0001~0171	
90373340	町入用押切帳	横	文久2.10.(~明治2.3.)	四谷塩町老丁目	FYO/3/4	3	0001~0415	4
90381853	町入用下勘定帳	横	文久4.1.	四谷塩町一丁目自身番屋	FYO/3/5	1	0001~0164	
90373341	金銀出入帳	横	文久4.1.	四谷塩町老丁目書役徳兵衛	FYO/3/6	4	0001~0081	
90373435	金銀出入帳	横	元治2.1.	四谷塩町老丁目原徳兵衛	FYO/3/6	5	0001~0084	
90373342	町入用下勘定帳	横	元治2.1.	四谷塩町老丁目	FYO/3/5	2	0001~0164	

90373343	町入用下勘定帳	横	慶応2.1.	四谷塩町志丁目自身番屋	FYO/3/5	3	0001~0149	
90373431	町入用下勘定帳	横	慶応3.1.	四谷塩志自身番屋	FYO/3/5	4	0001~0155	
90376746	町入用巨細控帳	横半	慶応3.1.(~明治5.10.)	四谷塩町志丁目月行事	FYO/3/5	5	0001~0188	
90373434	町入用下勘定帳	横	慶応4.1.	四谷塩町志丁目自身番屋	FYO/3/5	6	0001~0155	
90381436	坂町出火諸入用	竖	(江戸期)	塩町志丁目懸り行事(3か1名)	FYO/3/10	29	0001~0009	
90373439	町入用下勘定帳	横	明治2.1.	四谷塩町志丁目自身番屋	FYO/3/6	1	0001~0146	
90373436	町入用下勘定帳	横	明治3.1.	四谷塩町志丁目自身番屋	FYO/3/6	2	0001~0160	
90373344	家税取集帳	横	明治3.9.	塩志町用扱所	FYO/3/8	3	0001~0081	8
90373437	町入用下勘定帳	横	明治4.1.	四谷塩町志町目用掛	FYO/3/6	3	0001~0148	
90375868	御貸付金証文控*	竖	明治4.12.26	塩志用場	FYO/3/9	6	0069~0096	
90381465	(塩町志丁目家税取立帳)	横	(明治期)		FYO/3/9	17	0001~0016	
90381412	(捨場請負人金銭割合帳)	横	(年欠)		FYO/3/9	10	0001~0006	

*90375868「御貸付金証文控」は「工商業統制書上」(戸口)と合冊されている。
 *なお上記の他に、四谷塩町一丁目文書に含まれると推定される印刷物(状・後欠)として、明治3年8月「税法之定」(史料番号90373931、請求番号FIS/1/83)がある。

鎮守・祭礼

資料番号	標 題	形状	年 代	作 成	請求記号	検索 番号	コマ番 番号	史料 叢書
90381447	御仮屋諸入用勘定割合請取帳	竖	天保7.6.	(祭礼年番塩町三丁目掛り行事彦七 (印)→塩町志丁目御行事衆中様)	FYO/3/11	7	0001~0006	8
90381449	御仮家諸入用勘定割合請取帳	竖	天保8.6.	(祭礼年番伝馬町志丁目掛り行事兵 衛(印)→塩町志丁目御行事中様)	FYO/3/11	9	0001~0007	8
90381448	御仮屋諸入用勘定割合請取帳	竖	天保10.6.	(祭礼年番伝馬町新志丁目掛り行事伝 五郎(印)→塩町志丁目御行事中様)	FYO/3/11	8	0001~0007	8
90381438	年番諸用留 (両御様大木戸際御屋敷江入候につき町方	竖	天保11.1.~	通七ヶ町年番塩町志丁目	FYO/3/9	13	0001~0012	8
90381435	御廻り出役入用帳)*	竖	(天保11)子.9.18		FYO/3/10	28	0001~0004	8

90381451	神輿巡行道筋覚 日光御参詣二付御留守中七ヶ町持大木戸諸 人用割合請取帳*	縦	天保13.6.	四谷L13区 (通年番伝馬町卷丁目掛り行事市兵衛 (印)→塩町卷丁目御行事衆中様)	FYO/3/11	11	0001~0005	8
90381456	(祭礼年番につき両社神輿鈔付・御飯屋諸 人用前集其外控)	縦	天保14.4.	祭礼年番塩巻行事	FYO/3/11	15	0001~0006	8
90381441	両社轡幡再興控	縦	天保14.5.26~6.14)	世話人家主中・若衆中	FYO/3/11	2	0001~0009	8
90381434	両社御飯屋諸人用勘定割合帳	縦	天保14.6.(~天保15.6.)	七ヶ町年番塩町卷丁目	FYO/3/10	27	0001~0018	8
90381446	天王稻荷御本社格天井寄進帳 鎮守両社御内陣向惣修復皆出来詣出入勘定 書之控	縦	天保14.11.	別当所世話人 (通年番伝馬町卷丁目→塩町卷丁目 様)	FYO/3/11	10	0001~0008	8
90381452	両社御飯屋諸人用勘定割合帳	縦	天保15.6.	七ヶ町年番塩町卷丁目	FYO/3/9	16	0001~0010	8
90381454	宝生太夫勲進能出張割合共外共割合控	縦	弘化4.10.	通年番塩町卷丁目月行事太郎兵衛 両社世話人(印)→塩町卷丁目御行事 中様	FYO/3/11	13	0001~0006	8
90381410	両社惣修復日掛勳化請取帳	横	安政3.2.(~安政6.12.)	四谷塩町卷丁目月行事安平・世話掛 徳兵衛控	FYO/3/10	7	0001~0012	8
90381425	備社入用帳** 鎮守御祭礼鈔付道具一式預ヶ所おほえ并入 用帳	横	元治1.6.(文久2.6.~)	四谷塩町卷丁目自身番用所	FYO/3/10	14	0001~0032	8
90381421	祭礼諸入用おほえ	横	元治2.~慶応3.(~慶応4.)	祭礼懸行事兵藏ほか1名	FYO/3/10	12	0001~0010	8
90381418	須賀神社祭礼入用帳	横	明治6.7.	四谷塩町一丁目	FYO/3/9	8	0001~0018	
90381407	須賀神社祭礼入費割合帳	横	明治6.7.	塩町卷丁目	FYO/3/9	11	0001~0012	
90381415	祭礼入費割合帳	横	明治7.7.	第三大区九小区四谷塩町卷丁目	FYO/3/10	5	0001~0014	
90381408	両社祭礼入費割合帳***	横	明治8.7.18~21	年番	FYO/3/10	5	0015~0026	
90381408	両社祭礼入費割合帳***	横	明治8.12.		FYO/3/11	23	0001~0010	
90381464	備社入用帳**	横	明治8.					

90381414	両社祭礼入費割合帳	横	明治9.7.18~21(～明治10.7.21)	第三大区九小区四谷塩町巻丁目	FY/O/3/10	9	0001～0044	
90381437	題章(須賀神社地続き地所買請につき集会呼出)	整	明治20.4.12	年番	FY/O/3/10	30	0001～0006	

・四谷塩町一丁目の鎮守は、天王・稲荷合社(須賀神社)である。四谷には、寛永11年(1634)に麹町十一丁目の清水谷から移転した稲荷社と、梅田明神に祀られていた牛頭天王を寛永期に勧請した天王社が存在し、同21年(1644)に稲荷社と天王社が合祀された。この稲荷・天王合社は明治元年(1868)に須賀神社と改称され、現在に至っている。

・四谷塩町一丁目は、四谷塩町二・三丁目、四谷伝馬町一・二・三丁目、四谷伝馬町新一丁目と並び、「通七ヶ町」として稲荷・天王合社の祭礼などにかかわった。

・90381435「(両陣塚大木戸藤御屋敷江入候につき町方御廻り出役入用帳)」と、90381456「日光御参詣二付御留守中七ヶ町持大木戸諸入用割合請取帳」は、鎮守の信仰に関する史料ではないが、「通七ヶ町」で作成された資料として本欄に含めた。

・90381421・90381464「稲社入用帳」は、正月に家主らが自身番屋で会食を催した折の取支明細帳であるが、この稲社(びしや)への町入用からの出金には「毎年定例鎮守納物代」(史料票書4)などあり、鎮守との関係が窺えることから、本欄に収録した。

・90381408「両社祭礼入費割合帳」と「両官掌頭并門番所其外修繕費」は合冊されている。